

ひろげる
つなぐ
かえる

市民活動・ ボランティア ニュース

2010
3

発行 / みえ県民交流センター指定管理者
みえNPOセンター・ワーカーズコープ
514-0009 津市羽所町 700 番地アスト津 3 階
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

2010年2月25日発行
通巻 135号



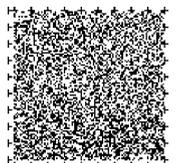
春の兆し

南斜面の陽だまりにオオイヌノフグリが咲き始めた。日差しは明るく、雨は植物を育む滋雨のようでもある。冷たい冬を経てきて春を待ち焦がれるのは、四季の移ろいが鮮やかな日本の特徴であろうか。

こころ沸き立つ季節の到来ではある。去年より羽ばたきたい、もっと手を広げて欲張っていききたい、想いばかりが募って空回りしそうな気がするが、ここはひとつがんばっていききたいもの。

春の兆しを感じながら来期に希望をつなぐ。

右の様子は SP コードと呼ばれる
バーコードで、専用の読取機で
音声を聞くことができます。



三重県NPOグループからお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体

認証申請団体

- 認証申請団体(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
 - (1)菟野町スポーツ文化振興会(2)谷 伸司(3)三重郡菟野町大字潤田1250番地
 - (1)みえ防災アドバイザー(2)宮崎興紀(3)四日市市桜台一丁目16番11
 - (1)卓球スクールサイズミック(2)田中謙次(3)伊勢市一志町4番17号
 - (1)ふるさとの杜(2)太田 均(3)鈴鹿市郡山町西端1214番地
 - (1)伊賀ベースボールクラブ(2)松本欣一(3)伊賀市白樫3268番地
- (平成22年1月10日～平成22年2月9日申請分)

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 和新会(平成22年1月12日)
 - 人材育成センター(平成22年1月27日)
 - 外国人研修生支援ボランティアネットワーク(平成22年2月1日)
- (平成22年1月10日～平成22年2月9日届出分)

NPOからの協働事業提案募集

NPOが日頃の活動を通して感じている社会的な問題を解決するため、NPOと県が企画段階から一緒に取り組む事業の提案を募集します。

- 対象/県内で民間・非営利活動を1年以上行っている団体
 - 応募期限/平成22年3月12日(金)まで
 - 募集内容/①自由提案
 - ②県テーマ「NPOと行政が相互理解を深めるための仕掛づくり」 県テーマの内容、応募方法など、詳しくはお問い合わせください。
 - 問い合わせ先/三重県 生活・文化部 男女共同参画・NPO室 NPOグループ
- Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5984
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
ホームページ <http://www.pref.mie.jp/NPO/>

みえ市民活動ボランティアセンターからお知らせ

協働シンポジウム

NPOは公共サービスを担えるか?!

- とき/3月13日(土)13:00～16:30
- ところ/アスト津3階(津駅東口隣接ビル)
- みえ県民交流センター・イベント情報コーナー
- 対象/どなたでも
- 参加費/無料
- 内容/13:00～ 協働シンポジウムの開催にあたり
- 13:20～ 講演 「育て上げ」ネット理事長 工藤 啓さん
- 14:20～ 休憩
- 14:30～ シンポジウム
- 募集人数/先着100人(要申込)

あなたの一票が団体を支える!

コーヒー売上金ファンド de 団体支援

みえ県民交流センター内で利用されているアストdeカフェ(100円コーヒー)の売上金をファンドとしてセンター登録団体に寄付します。応募された団体の活動内容を表記したポスターがセンター内に掲示してあります。センターご利用者の投票により3団体を選出し、3万円ずつ寄付します。ポスター期間中に是非みえ県民交流センターにお越しください。あなた

投票したいむ

が応援したい団体にぜひ一票を!

- ※ポスター募集は2月15日(月)に締め切りました。
- ポスター掲示・投票期間/2月20日(土)～3月20日(土)
- ところ/アスト津3階 みえ県民交流センター

NPO無料よろず相談

毎回二団体先着順のため、相談日の一週間前までにお申し込みください。

- とき/毎月第一火曜日(祝祭日の場合は翌日)
- (1)10:00～11:00 (2)11:00～12:00

【今後の予定:3月2日、4月6日、5月11日、6月1日】

- ところ/アスト津3階 みえ県民交流センター
- 相談員/みえ県民交流センター指定管理者 みえNPOセンター・ワーカーズコープ グループ代表 みえNPOセンター代表理事、同事務局長
- 対象/NPO法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか?～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

【交流会】●とき/3月9日(火)13:30～16:30

みえNPOセンター・ワーカーズコープ
問い合わせ先 Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net

イベントスケジュール

【無料】～将棋好き集まれ!～

プロ棋士による将棋界ウラ話と指し手解説

- とき/3月5日(金)14:00～16:00
 - ところ/松阪駅前商店街ベルタウン「元気屋」(松阪駅より徒歩2分)
 - 参加費/無料
 - 内容/講師はプロ棋士(三段)の川崎大地さん。大阪商業大学では、将棋資格とマーケティングを題材にした講義も行っています。当日は、大盤の将棋盤を使っての指し手解説を行います。将棋界のウラ話も飛び出しそうです。
 - 問い合わせ先/ベルタウン30周年事業(担当:米山)
- Tel.090-3385-6958



三重発! コミュニティビジネスの祭典

- とき/3月11日(木)10:00～17:00
- ところ/三重県教育文化会館 5階(津市桜橋2-142)
- 参加費/無料(ランチパーティ参加者は実費800円)
- 内容/地域経済の活性化と新たな雇用創出に役立つ取組として注目を集めるコミュニティビジネス。その担い手の約半数はNPOだと言われています。コミュニティビジネスについて、じっくり味わい、みんなで考え、つながり合う1日です。

市民活動・NPO団体のための広報セミナー

プレスリリースのはじめ方

自分たちの活動を新聞やテレビ等マスメディアに取り上げてもらいたいと思ったことはありませんか？

情報を提供してもなかなか取材に来てくれないと思ったことはありませんか？

そんなあなたへ…

ぜひこのセミナーに参加して技術を学び、取材に来てもらえるようになりましょう！

講師 池田佳代さん (Our Plant TV 事務局長)

これまで、複数のNGOにおいて広報担当を経験され、現在は報じる側として活動されています。

これらの経験を元に、都内の市民活動支援センターなどが開催する広報セミナーで講師を務めておられます。



プログラム

13:00～14:00	講義
14:00～16:00	リリース文の作成とまとめ

●とき／3月6日(土)13:00～16:00

●ところ／アスト津3階(津駅東口隣接ビル) みえ県民交流センター ミーティングルームA&B

●受講料／500円

●対象／市民活動団体・NPO法人等や企業に所属している方でプレスリリースに関心のある方

●募集人数／20人(先着順・定員に達し次第締切)

●申込締切／3月1日(月)

●申込方法／申込書に受講料を添えて窓口で申込み。

●申込・問い合わせ先／みえ市民活動ボランティアセンター Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971

E-mail center@mienpo.net ホームページ <http://www.mienpo.net/center>

●主催／みえNPOセンター・ワーカーズコープ

①【10:00～】事業者と支援者の二人三脚物語

～三重発コミュニティビジネスの現場から～

★クレソンで村おこし!

★重石1つ、桶1つからはじまった、たかな漬物語

★ワンデイシェフと学生Cafe & Bar

②【11:45～】三重地産地消ランチパーティ

～三重のコミュニティビジネスを味わう～

★スペシャルゲスト:村林新吾先生(相可高等学校食物調理科教諭)

③【13:30～】地域の元気・連携フォーラムin津

～連携ネットワークの未来～

「東海・北陸コミュニティビジネス推進協議会」の活動総括と、各県・地域単位でのネットワークづくりについて考える「地域部会」を始め、「事例研究部会」「資金循環部会」「SR部会」の各部会活動の報告、ワークショップなど。

●応募締切／3月5日(金)

●申込方法／氏名、所属、住所、Tel、E-mail、参加するプログラムをE-mailまたは電話にて下記まで。

●申込・問い合わせ先／(特活)起業支援ネット(担当:森、西井、久野) Tel.052-486-4101 Fax.052-486-4103

E-mail aile@npo-kigyo.net

●主催／①(特活)起業支援ネット、②③東海・北陸コミュニティビジネス推進協議会、③三重県

●参加費／女性1500円 男性3000円

●内容／「ミーツ・パーティー」は、三重県のモデル事業として2年間実施したのち、好評につき、松阪商工会議所、松阪市商店街連合会などが連携し、自主事業として4年目を迎える出会いのパーティーです。例年、定員を越える人気です。お早めにお申込みください。

●募集人数／30人(20～45歳の未婚の男女各15人)

●応募締切／3月8日(月)定員になり次第、締切

●申込方法／パソコンか携帯のE-mail。「ミーツ参加希望」の件名で、氏名、年齢、性別、職業、住所、Tel、E-mailを下記まで。

●問い合わせ先／ミーツプロジェクト事務局(担当:米山)

Tel.090-3385-6958

E-mail yoneyama@ma.mctv.ne.jp

映画上映会「未来の食卓」

●とき／3月13日(土)

1回目10:00～12:00 2回目13:30～15:30

●ところ／名張市武道交流館「いきいき」多目的ホール

●上映協力金／大人 前売1000円・当日1200円、中学生以下 前売500円・当日600円

託児 1000円(定員10名・要申込)

※いずれかの回で見守り託児をお手伝いいただける場合は無料。下記へ2月末までに連絡を。

●内容／“学校給食と高齢者の宅配給食をオーガニックにする”という前例のない試みに挑戦した南仏・バルジャック村の1年間を描きオーガニックブームを巻き起こしたドキュメンタ

～出会い応援～「ミーツ・パーティー2010」

●とき／3月13日(土)14:00～16:00

●ところ／松阪市中心市街地 (詳細は別途連絡)

リー!!(字幕112分)

●主催・問い合わせ先／つながる食を考える会「こどもとごはん」 Tel.0595-67-0250(かがやき)※折り返しのご連絡となります E-mail kodomo580@livedoor.com

春のドイツ料理教室

- とき／3月14日(日)13:30～15:30
- ところ／アスト津5階(津駅東口隣接ビル)「食工房」
- 参加費／材料費と会場費の実費
- 内容／じゃがいもを使ったドイツの料理に挑戦します。メニューは香草スープ、牛肉の煮込み、公爵夫人風じゃがいもピューレ添え、レモンムース、トマトサラダ。講師はドイツ滞在歴16年の浦崎弥生さん。
- 応募締切／3月10日(水)
- 問い合わせ先／向井明子 Tel.059-232-0594 E-mail am.deutsch1685@gmail.com
- 主催／三重日独協会

フリーマーケット in 四日市ドーム VOL.33

- とき／3月28日(日)10:00～16:00
 - ところ／四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169 近鉄四日市駅西口より無料シャトルバス運行)
 - 参加費／前売券315円、当日券525円
 - 内容／フリーマーケット700ブース、飲食8ブース、企業6ブース。
- 会場内ステージにて、ダンスパフォーマンス・ウルトラビンゴゲームなどを開催。ブースイベントとして“キャラもの&ミニカー大集合”を開催。
- 主催・問い合わせ先／(特活)MFA Tel.059-320-0133 Fax.059-320-0134 E-mail webmaster@mfa.gr.jp ホームページ <http://www.mfa.gr.jp/>
 - 共催／レディオキューブFM三重



世界自閉症啓発デー 特別企画

第2回三重県自閉症協会作品展

- とき／4月1日(木)～4日(日)10:00～16:00 (初日13:00～、最終日～14:00)
- ところ／津リージョンプラザ3階 展示場(津市西丸之内23-1 津市役所隣)
- 内容／4日12:30～13:00、“不安定ユニットらも”と書の生コラボを開催。

映画「ぼくはうみがみたくなりました」上映会

- とき／4月3日(土)開場12:30～ 上映13:00～
- ところ／津リージョンプラザ お城ホール
- 参加費／協会会員500円、一般(非会員)1000円、学生(小学生～大学生)500円 ※当日、受付にていただきます。
- 内容／自閉症の青年が教えてくれた大切なこと…。心がすこし優しくなれる感動のストーリー。当日は原作者、山下久仁明さんの舞台挨拶もあります。
- 主催・問い合わせ先／三重県自閉症協会(事務局:横山美香) Tel.& Fax.059-234-9477、090-8733-0609

映画上映会「ゆずり葉」

- とき・ところ／4月3日(土)13:30～ 紀宝町生涯学習センター まなびの郷きらめきホール
 - 4月23日(金)19:15～ 鈴鹿市文化会館 けやきホール
 - 4月25日(日)14:00～ 松阪市・三重中京大学7号館721号室 ※時間はいずれも上映開始、受付は30分前から(全席自由)
 - 参加費／前売 大人1200円・高校生以下800円 当日 大人1500円・高校生以下1000円
 - 内容／ろう者と健聴者のヒューマン・コラボレーションです。(全編字幕付き)
- 全日本ろうあ連盟が創立60周年を記念して初製作した映画「ゆずり葉」を上映します。脚本・監督の早瀬憲太郎自身も聴覚障がい者。出演はろう演劇界のリーダー庄崎隆志、SPEEDの今井絵理子ほか。
- チケット購入・問い合わせ先／(社)三重県聴覚障害者協会 Tel.059-229-8540 Fax.059-223-4330

よびかけ 報告

ドイツ人学生のホストファミリー募集

- 三重大学で実施されるサマースクールに参加するために、ドイツ各地の大学から学生15名が来日します。学生たちはそれぞれの大学で1年間日本語を学んでいるので、日本語での日常会話に支障ありません。滞在中、月曜から金曜の午前中は三重大学で授業を受け、午後からは週に数回程度日本文化体験に参加します。週末はホストファミリーと過ごすことになります。ホームステイの受入条件は、朝食と夕食の提供と、一部屋個室を貸していただくことです。
- ホームステイ期間／8月8日(日)～9月4日(土)
 - 謝礼／5万円
 - 申込・問い合わせ先／大河内朋子 Tel.059-227-0687 E-mail okochi_tomoko@mac.com

【ネクストドア新規事業】

『4つのサークル』のメンバーを募集中!!!

松阪市が主催するネクストドアは講座を実施するだけでなく、まちづくりを行う「仲間づくり」、「サークルづくり」もサポートします。このたび新しく4つのサークルが立ち上がり、メンバー募集をスタートさせました。まずは、お気軽にメンバーの登録をしてください(登録無料)。

一定の登録人数が集まりましたら、詳細を別途ご連絡いたします。「こういうサークルにしようよ」などのご希望は、登録者と一緒決めていける集まりにしたいですね。

- (1)「フリーマーケット主宰者」サークル
まちづくりの活動としてフリーマーケットを主宰するサークル
 - (2)「大道芸」サークル
ジャグリングなどの大道芸を一緒に練習していくサークル
 - (3)「小説・自分史」サークル
小説や自分史を書いて、共に楽しむサークル
 - (4)「コミュニティビジネス」サークル
コミュニティビジネスを勉強していくサークル
- 応募締切／第一次締切3月31日(水)



●申込方法/件名を「NDサークル参加希望」とし、本文に希望のサークル名、住所、名前、年齢、Tel、Fax、E-mailを記入し、E-mailかFaxで申込み。

●申込・問い合わせ先/(特活)Mブリッジ(担当/米山)
Tel.0598-23-8400 Fax.0598-25-3803
E-mail info@m-bridge.jp
ホームページ http://www.m-bridge.jp/nextdoor/

(特活)みえ親子・人間関係研究会事業

カウンセリング実践研修会

- とき/3月22日(月・祝)10:00~16:00
- ところ/三重県総合文化センター
フレンテ2階セミナー室B
- 参加費/3000円
- 内容/傾聴と自己表現を学ぶワークショップ。日常生活の小さな心の悩みを受け止め合うことで、子どもや大人のストレスから起こる病気や現象を予防する目的の一日研修会。
- 募集人数/30人(定員になり次第締切)

カウンセリング実践講座生募集

- とき/5月8日より毎月1回 全10回(8月休講)
- ところ/みえ親子・人間関係研究会研修室
- 受講料/30000円(2回分割払い)
- 募集人数/15人

訪問相談

不登校生をお持ちの小学生の家庭に、保護者担当と児童対応の2人の相談員が訪問し、問題解決のお手伝いをします。時間、回数は面接のうえ決定。3組限定、有料。

●申込・問い合わせ先/(特活)みえ親子・人間関係研究会
津市大倉13-19 アコギビル Tel.&Fax.059-246-5562

助成金 情報

TaKaRaハーモニストファンド

- 受付締切/3月31日(水)
- 対象団体/自然環境を守り、育てる活動または研究を实践する個人および団体
- 対象活動/豊かな緑ときれいな水を守るための活動助成
緑の保護、育成、河川等の環境保全創出のための研究助成
- 助成の額/総額500万円前後、助成件数は10件程度
- 応募方法/申請書はホームページ(<http://www.takarashuzo.co.jp/environment/>)からダウンロードするか、下記へ請求
- 問い合わせ先/TaKaRaハーモニストファンド事務局 みずほ信託銀行京都支店営業2課 Tel.075-211-6231

「まちづくり人」応援助成金

- 受付期間/3月1日(月)~3月31日(水)到着分
- 助成の対象となる活動/A項目「地域の小さな循環をつなぐ仕組み創り」
B項目「各地域でのまちづくり活動」等の6分野の活動

B1「環境活動」環境保全やエコ運動を推進 B2「啓蒙活動」NPOや組織づくり
B3「交流活動」世代間交流を活発にする活動や運動等 B4「活性化活動」地域の
商工業を活性化する活動 B5「文化活動」地域の歴史や文化、芸術活動の推進
B6「福祉活動」地域福祉の増進を図る活動。

●助成の額/総額500万円。1件上限50万円。10数件程度選出。その他助成金以外に応援してほしい事柄の中から、応えられるものについて応援します。

●応募方法/助成金交付申請書およびその他必要書類はホームページよりダウンロード。

●問い合わせ先/(財)まちづくり市民財団事務局
102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3 日本青年会議所会館内
Tel.03-3234-2607(平日9:30~18:00) Fax.03-3234-5770
E-mail machizkr@interlink.or.jp
ホームページはまちづくり市民財団で検索してください。

平成22年度街なか再生等NPO助成金

- 受付締切/3月31日(水)消印有効
- 助成の対象となる団体/主に、まちづくりに関心を持ち、活動・運動・事業を行っている次のいずれかの法人。(1)法人格を取得しているNPO。(2)法人格を取得している中間法人。(3)中心市街地活性化協議会(法に定めるもの)及び認定TMO。(4)街なかにおける面整備の準備組合。
- 助成の対象となる活動/下記1,2,3の何れかに該当する活動・事業(重複可)
1、現在行われている各地方自治体の中心市街地活性化の取組み<中心市街地活性化基本計画(中心市街地活性化法に基づく総理大臣認定を受けたもの及び旧法において作成されたもの)に記載のある事業等>に寄与する活動・事業
2、まちづくり会社等の事業に関係のある活動・事業
3、街なかの土地区画整理事業等の面整備を推進する初動期の取組み及び土地区画整理事業の完了地区)

- 以上のうち、下記(1)~(6)の何れかに該当するもの(重複可)
- (1)まちの資源(歴史的建造物、産業遺産)を活用する取組み
 - (2)まち特有の文化、伝統を活用する取組み
 - (3)まちの新たな魅力、可能性を探る取組み
 - (4)まちの環境・景観を向上する取組み
 - (5)まちを活性化するためのまちの維持管理運営に係る取組み
 - (6)まちに住まいや店舗等の立地を促進する取組み

●助成の額/1件あたり上限100万円
●応募方法/申請書などはホームページからダウンロードして使用。郵送希望の場合、送料分の切手(1部につき140円)を貼って郵送先を記入した返信用封筒(A4が入る大きさ)を同封し、下記まで郵便にて請求。申請書類は郵送すること。

●問い合わせ先/財団法人 区画整理促進機構 街なか再生全国支援センター(街なか再生NPO助成金担当:小塚) 102-0093 東京都千代田区平河町2-3-11花菱平河町ビル3階 Tel.03-3230-8477 Fax.03-3230-4514

E-mail mail@sokusin.or.jp
ホームページ <http://www.sokusin.or.jp/machinaka/npo/npo.html>

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご留意のうえ、積極的なご活用を期待しています。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。

(2)送付はE-mail(ない方はFax)で。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

E-mail center@mienpo.net Fax.059-222-5971

転載を希望される場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

(広告)

株式会社、社団法人等の法人設立から許認可手続まで

NPO・社会福祉法人設立

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 法 務 よ い よ

0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC内)
三重県津市本町14-18 URL www.e-houmu.info

(広告)

特定非営利活動法人
津市NPOサポートセンター

語り手：川北 輝（理事長）

幅広い年代層のスタッフが
強み

……津市NPOサポートセンター（以下、「サポートセンター」と略）の“強み”は？

若い人材が集まってきていること。それに、20代から60代まで、各世代のスタッフがいます。スタッフの世代や性別が偏ると、出てくるアイデア等も偏ってしまう気がしたので、さまざまな世代に渡っていた方がいいとは思っていました。

各世代の意見を聞くこともできるし、年齢によって繋がりも面白いものがあります。若い世代の繋がりは若者が集まってくるし、50代以上になってくると企業の役付の方やビルのオーナーなどとも繋がれます。津市役所との関係にしても、それぞれの年代で顔見知りや同級生などがいて、働きかけやすいですね。

……地域のセンターとしては、“強み”ですね。

もう一つ、気をつけているのはスタッフの男女比です。スタッフ12人中、自分だけが男性だった時期があり、自分の意見が正しいか判断できなくなったことがありました。今は17人中、5人が男性。まだまだ男性のパワーは弱いけれど（笑）、男性同士で語り合うこともできるようになりました。あと、力仕事などの面でも楽になりました。

市民活動団体の支援を手段に、
津市を活性化

……サポートセンターのミッションと、めざしておられることを教えてください

津地域の市民活動団体の支援という手段をとって、地域全体を活性化させていくことです。まだまだ政策提言とまではいきませんが、将来的に津市の行政と一緒に政策をつくれればと思っています。それによって、より良い津市をつくっていききたいというのがミッションですね。

……そのための具体的な内容は？

受託事業が多く、なかでも大きいのはセンターパレス2、3階にある「津市市民活動センター」（以下、「活動センター」と略）の指定管理と、地下にある“まんなか交流館”の委託事業です。これらは12月29日～1月3日を除く年中無休で、開館時間は10時から22時までです。

その他、まんなか交流館の活性化事業や三重県の物産を発掘して、都市部で販売していく「みえご縁市場プロジェクト」、津のブログのポータルサイト「津のこと」の運営を受託しています。各事業に対して4人前後のスタッフが必要になります。このほか、サポートセンター独自の事業として情報誌「Nスタイル」の隔月発行や講座などを開催しています。

……運営上の課題は何ですか？

委託事業を受けすぎてしまう傾向がありますので、委託事業が無くても運営できる資金の仕組みを作ることです。

もう一つは、NPOや市民活動がまだまだ世間に認知されていないようですから、もっと多くの方に知ってもらおう努力をしなければいけないと考えています。

展望としては、今、試験的に行っているさ

まざまな事業を①“広報”②“IT”。事務代行ではなく、会計の勉強会や事務書類の作り方など③“事務ノウハウの支援”。④“人材育成”⑤“行政との協働”の5つぐらいに絞って、深く、安定した事業にしていきたいと思っています。

……それぞれの分野で、現在取り組んでいることは？

「広報」では、情報誌の発行。全スタッフにそれぞれコーナーを任せて、編集しています。

「IT」は、ブログ講座のほか、技術的な相談は必要に応じて随時、受けています。実は活動センターの登録団体が約300ある中で、メールアドレスを持っているのは50団体ぐらいしかいないのです。当然、インターネットでの情報発信もできません。最近は企業も行政もネットで調べますから、団体の情報が何もヒットしないという状況は避けたいですね。

その一方で、大学生にボランティア募集のチラシを見てもらおうと思うと携帯電話用のQRコードが必須。このギャップをどう埋めるか、ちょっと悩んでいます。

「事務ノウハウの支援」にも繋がりますが、メールアドレスが無い上に、自宅を事務所代わりにしているため、住所や電話を非公開にしている団体があります。その活動に興味を持って、連絡手段が無い場合、サポートセンターが仲介しても立ち消えてしまうケースも多いです。事務はおろそかになりやすい部分ですが、そこをきちんとしないと団体は継続できません。窓口対応で損をしている団体もありますから、各団体に努力してもらいつつ、僕らも何かできないかと考えています。

一般人の意識・意見を大切に

……事業の発想、企画についてはどうですか？

「NPOって何？」というレベルでスタッフになった人が意外に多いのですが、逆にその意識や意見を大切にしたいと思っています。

専門用語と言うと変ですが、僕らが意識せずに使っている言葉でも、NPOをよく知らない方には通じなかったりします。その時に改めて「この言葉は一般的ではないのだな」と、勉強させてもらっています。

企画書やチラシづくりにしても作った後にスタッフから「これじゃ、誰も行かない」と言われて（笑）。みんなでイチから考えています。

……事業の組み立て方も変わりましたか？

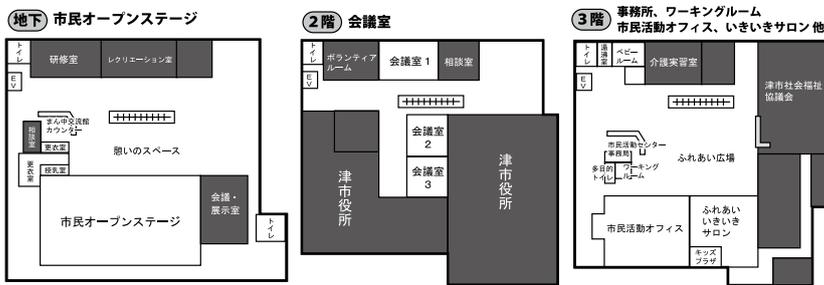
今までは会議を何回も重ねて良い事業をつくらうとしてきましたが、最近は、毎月の会議はきっちり行いつつ、どこかで“勢い”を大切にしています。

いろいろな発想をスタッフから出してもらい、みんなが共感して面白いと思えるものがあれば、会議を重ねていなくても、「やっちゃおう」と進める時があります。

一見、考え無しのようにですが、幅広い世代が集まった状態で、みんなが面白いと感じた企画は、案外上手くいったりします。それによって、ニーズへの対応が早くなったとも思います。

……「人材育成」についてはどうお考えですか？

実は、去年から「NPOで働きたい」という問い合わせがかなりきています。そういう若者がいるのであれば、三重県として働ける場を提供することは必要だろうと強く思います。



津市NPOサポートセンターが管理を受託している津市民活動センターの間取りと窓口

サポートセンターとしては、去年までは「ファッションデザイナー養成講座」や「あがり症、話下手克服講座」などを行っていましたが、現在はもう少し違う形で講座をできないか思案中です。

また、「この仕事はこの団体がやったらおもしろいだろうな」と思っても、法人格をもっていないから行政や企業と直接契約はできないというような場合、サポートセンターが契約を受けて、その事業に相応しい団体と組んで事業を行うことはできないかと考えています。

協働ありきでなく、慎重に

……では、「行政との協働」についてはどうでしょう？

そこは一番難しいというか、慎重に扱わなくては行けないテーマだと感じています。津市の場合、市民活動団体との協働の実績が少ないですし、市民活動団体自体の情報も少ないので、どうしてもサポートセンターに依頼が偏ってしまいます。

協働する際にも、お互い考え方が違いますから、NPO側にも、行政側にも、一緒に仕事をするとはどういうことかを伝えていかないと行けない。お互いの強みを活かすというと簡単ですけど、何が“強み”かわかるまで、結構、時間がかかりますね。

……双方に理解がないと協働は難しいですね。

必ずしも協働すればいいというものでもありません。サポートセンターで、ある協働事業に取り組んだ時、最終的に感じたのは、この事業は一緒にやる事業ではなく、事業の一部だけを請け負うべきだったということでした。それに気づくためには、事業後のフィードバックをきちんとやること。無理して協働して、お互い心身共に削られていくようではもったいないですね。

……サポートセンターと津市の関係はどうですか？

サポートセンターが行う多くの事業に参加してもらっていますし、年間予算や事業に関しても、毎年、話し合いの場を設けてもらっています。資金面でも、事業内容でも行政から一方的に押しつけられることはないし、予算に関しても前向きに検討してもらえますから、すごくやりやすいですね。もしかしたら、あえて協働と言わなくても、できている部分なのかもしれません。

僕たちは、市役所や企業から受けた仕事はきっちりこなしたうえで、成果を出すことを心がけています。そうすることで行政から高い評価をしていただけますし、その評価があってこそ事業委託の話がいただけます。今はまだ事業提案ができるまではいきませんが、評価が高まれば、こちらから事業を持ちかけることもできると思います。

あらゆる角度から資金づくり

……運営資金はどうしていますか？

8割ぐらいが受託費です。活動センターの場合、人件費が運営費を上回っていますので、それを補填するためにいろいろ考えています。まず、市民活動団体が利用できるオフィスブースと会議室の貸し出し。オフィスは19ブースあって、月5000円ですが、ここ数年はすべて埋まっています。会議室は有料ですが、活動センターの登録団体は無料で使えます。活動センターの設立趣旨は市民活動の活性化ですから、活性すればするほど、減収入(笑)。その点は今、津市市民交流課と交渉中です。印刷機、コピー機もサポートセンターの所有物ですから、この使用料も資金になります。

最近では、「みえご縁市場プロジェクト」と連携して、物産を販売したり、確定申告の行われる時期に合わせて、物産販売やサポーターズカフェを開催しています。カフェはコーヒーを200円で販売し、その売上げの一部を市民活動団体に寄付してもらおう仕組みです。

今年度は事業全てを受託するのではなく、“津市げんき大学”の講座部分や“シニアボランティア入門講座”など、事業の一部を担当する受託もありました。

今後は委託事業ではなく、できれば自主事業の方向に進んでいきたいなどは思っています。

……他の団体からの事業委託もあるのですか？

今はほとんどありません。シニアボランティア入門講座では津地区ボランティア連絡会と一緒にさせていただきました。他の団体と実行委員会形式でイベントをつくることは今までもありましたが、一つの団体とじっくり向き合って、技術やノウハウを交換し、お互い同じ目標に向かって行くというのは経験不足ですね。そういう取り組みのためには資金が必要ですから、資金づくりの仕組みを考えて、今後は協力して地域のためになるような、深い関わりを持ちたいと思っています。……ミッションを実現させるためにも、資金づくりは大切ですね。

資金づくりの仕組みをきちんとつくって、できれば他のNPOの見本になりたいですね。NPOでもきちんと収益を出して、安定した生活ができるというのを見せていければと思います。

【データ】

- 三重県津市大門7-15 津センターパレス3階
- Tel.059-213-7200
- Fax.059-213-7201
- E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp
- ホームページ http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/
- 代表者 川北 輝(理事長)
- 団体設立年月日 平成17年4月25日
- NPO法人化年月日 平成19年10月17日
- 会員数 33名
- 会費 2000円



シニアボランティア入門講座、視覚障がい体験

協働する際にも、お互い考え方が違いますから、NPO側にも、行政側にも、一緒に仕事をすることはどういふことかを伝えていかないと行けない。

川北 輝

ひろげる・つなぐ・かえる

みなさんに一緒に考えていただきたい課題をNPOの視点で取り上げます。

戦略の重要性

日頃の活動を通じて得た問題意識を実際の政策に反映させるため、政府・行政等の意思決定者に働きかける政策提言は容易にできるものではありませんが、硬直化した制度を改革し地域の課題解決を図り、住みやすい地域や社会につくり変えることを社会に求められています。不登校やホームレス、病児保育などさまざまな課題解決のためにNPOの働きかけや具体的な活動が認められ、一部社会システムに組み込まれつつあることなど、NPOが実際に大きな力を果たしている事例もあります。

政策提言を実施したり、協働していく過程で、NPOと行政はよりよい成果を挙げるために十分に話し合い、お互いに刺激を受け合って、ともに変わっていくことにつながります。

しかしながら、ともすると「思い」の強いNPOは、自分たちはよいことをしているのだからと突っ走ってしまったり、自己満足に陥りやすいのではないかと考えられます。戦略なしに、思いつきで事業を行ったり、目の前の日程に追われて、事業をこなす状況がどういうものであるのか。自らが行いたいことの目的を見ようとしないうで、目先のことのみを追いかけて対症療法に終始しては、いつまでたっても社会を変えていくことはできません。

社会変革をめざすNPOにとって何をどうすればよいか、自分たちの進むべき道筋を明らかに示し、どのような戦略をもって目標を達成しようとしているのか、内部のみならず外部に向けても、積極的に発信していかなければなりません。「社会を変える」という意気込みを持ったNPOにとって戦略は重要な要素であり、そのためにどれだけ具体的な計画を企画し実践していけるかは組織にとって大切なキモになるのです。

市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】

●津市 ●みえ市民活動ボランティアセンター / 津市市民活動センター / 三重大学 / 看護大学 / 三重短期大学 / 高田短期大学 / (有)デザインオフィス萩野 ●桑名市 ●桑名市市民活動センター ●いなべ市 ●いなべ市市民活動センター ●東員町 ●とういんボランティア市民活動センター ●四日市市 ●四日市市市民活動センター / みえチャレンジプラザ / 四日市大学 ●亀山市 ●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市 ●市民ネットワークすずかのぶどう / 鈴鹿国際大学 / 鈴鹿医療科学大学 ●松阪市 ●松阪市市民活動センター / 三重中京大学 ●伊勢市 ●いせ市民活動センター / 皇學館大学 ●鳥羽市 ●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●志摩市 ●志摩市市民活動支援センター / 横山ビジターセンター ●名張市 ●名張市市民活動支援センター / エコリソート赤目の森 / 名張市立図書館 / 名張青年会議所 / 皇學館大学名張キャンパス / 名張市総合福祉センター ●伊賀市 ●伊賀市市民活動支援センター / ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター / 伊賀市中央公民館 / 伊賀市立図書館 / 上野青年会議所 ●尾鷲市 ●東紀州コミュニティデザインセンター ●明和町 ●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町 ●南伊勢町町民文化会館 ●紀宝町 ●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】

県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】

百五銀行各店 / 第三銀行各店 / 三重銀行各店 / 東海労働金庫各店 / メディカル一光各調剤薬局

【行政機関等】 三重県庁県民ホール / 三重県地域機関(各県民センター [桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野]) / 三重県栄町庁舎(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 三重県立こころの健康センター / 斎宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フロンテみえ」 / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 三重県鳥羽パート情報センター / 三重県立熊野古道センター / 各市町役場

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行



百五銀行
FRONTIER BANKING



JAバンク
三重県下JA / JA三重信連

270 PRINTED WITH SOY INK 古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。